

## 助成・寄付寄贈報告

- ※ 会員様・利用者様より 子供達へのおもちゃ、文房具、観葉植物、椅子など
- ※ イオン様 黄色いレシートキャンペーンにて イオンギフトカード 29,100 円

～ 皆様に厚く御礼申し上げます ～

・掃除機、子ども用自転車の寄付をいただける方を募っております。ご不要の物がありましたらご協力をお願い申し上げます。

## 研修会・講演会のご案内

### ◆ 定期研修会「Be サポ事例研究会」

専門職向けの研修会です。日々の業務の中で、対応や方向性に迷うことはありませんか。参加者の皆様とさまざまな意見を出し合いながら、その人らしさを理解し、今後の支援の在り方や方向性を一緒に考えていきたいと思っております。

日時：原則、毎月第3水曜日 18:30～21:00

場所：沼津市商工会議所 4階会議室D ※今年度より会場を変更しています

参加費：Be サポ会員無料、非会員 1,000 円/1 回

参加資格：心理士、スクールカウンセラー、支援員、教員など、守秘義務を課せられた専門職の方が参加できます。

初めて参加される方は Be サポートまでご連絡ください。

今後の予定：6/19、7/17、8/21、9/18、10/16、11/20、12/18、1/15、2/19、3/19

※この研修会は、臨床心理士資格認定協会の資格更新ポイント（定例型）の申請を予定しています。

## Be サポート業務一覧

### 相談・カウンセリング事業

カウンセリング、プレイセラピー、EMDR、各種心理検査

### 医療・保健・福祉・教育等 地域機関への協力

母子保健事業（乳幼児健診・発達相談・療育教室）

：伊豆市・伊豆の国市・清水町・長泉町

教育委員会（就学支援・特別支援教育・巡回相談）

：函南町・清水町・伊豆市・長泉町

市民メンタルヘルス相談：伊東市・富士市

県および市町主催ゲートキーパー養成事業

高校スクールカウンセラー・学校支援心理アドバイザー

看護学校スクールカウンセリング

NPO 法人静岡犯罪被害者支援センター

社会的養護関係施設第三者評価事業

### 被災者支援事業

東日本大震災被災者支援活動「OHANA」

### 不登校・ひきこもり支援事業

沼津市：東部圏域 居場所「なごみ」（県委託事業）

伊豆市：伊豆圏域 居場所「とっこ」（県委託事業）

### 企業・事業所への支援事業

メンタルヘルスカウンセリング

企業研修会への講師派遣

### 研修・啓発事業

専門職対象の定期研修会開催

一般市民対象の講演会開催

### 児童発達支援事業

障害児・者総合サポートセンターみつばち

-----沼津市-----

保育所等訪問支援 / 児童発達支援「あんず」

放課後等デイサービス「かりん」

-----伊豆市-----

みつばち伊豆 放課後等デイサービス「みかん」

### 相談支援事業

指定計画相談支援・指定障害児相談支援「び～さぼーと」

特定非営利活動法人 臨床心理オフィス Be サポート

# クローバー通信

2024年6月 | 日発行 Vol.35

NPO 法人 臨床心理オフィス  
**Be サポート**

〒4100056 沼津市高島町 29-11 盟萌ビル 201

Tel/Fax 055-925-1701

Mail besapo@mail.wbs.ne.jp

HP <http://be2011.jimdo.com/>

発行責任者 皆川行寛

## 『認知症の義母との生活から考えること』

Be サポート理事 加藤 好子

日頃、さまざまな年齢層のさまざまなお悩みに対応させていただいていますが、高齢者の認知症に関しては、能力検査の結果から認知機能の低下の疑いをお伝えするくらいで、これまで臨床経験がありませんでした。ところが、米寿を迎える同居の義母が 2 年前に認知症の診断を受け、さまざまな困り感や不都合をプライベートで実際に体験することになりました。

例えば、こうだよと教えてもそうじゃないよと訂正しても、すぐに忘れて同じ失敗を繰り返します。同じ話を一日に何度もしたり、本人は良かれと思って余計なことをします。それに対して、特に夫が「なんで何回も言わせるんだよ！」とイライラしてきつきたり、言い争いになったり、本人を委縮させてしまうこともありました。

そこで、困り事が起きやすい場所に、「〇〇はここに置きます」「〇〇はそのままでいいです」「今日は〇〇をします」など、本人のプライドを傷つけないように、命令形ではない短い文章で書いて貼っておくことにしました。家じゅう張り紙だらけで見栄えは悪くなりますが、義母もそれを見て間違えずにできるようになり、同じことを言う回数は減りました。

ただ、だんだん慣れてくると張り紙が景色になってしまうようでしたので、次には、間違えそうな状況を目の前からなくすようにしました。例えば、「歯磨き粉」「ハンドクリーム」と大きく書いて貼っておいても間違えて使うため、洗面台に並べて置くことをやめました。形の似ているものは判別がつきにくいこともわかりました。「このボタンは押しません」と書いておいてもウォッシュレットのボタンを間違えて押して何度も水浸しにするので、不要なボタンを紙で隠し、押せないようにしました。義母は、見えるものは気にしますが、見えなくなったものは気に留めなくなるようでした。

ある時、いつもはしない洗濯をしてくれたことがありました。よく洗濯機の使い方がわかったなと感心したのもつかの間、洗剤と漂白剤を間違えてしまったため、家族の洗濯物全部がまだらに色落ちてしまいました。下着を汚して気まずく思っただけで洗濯したと思うと、怒ることもできません。そこで、「お洗濯ありがとう」とお礼を言い、漂白剤は扉の中に入れてしまいました。同じ話を何度もすることに対しても、「そうだよね、でも今はこうだよ」と、本人の気持ちを害せずに伝えるコツを家族がつかんできました。

こうして義母の認知症に対応していく中で、これは発達特性のあるお子さんの対応と共通するなあ、と感じています。お子さんの将来を心配し、他の子と同じようにできるようにしてほしい、と願う気持ちが強いあまりに、親はつい、毎日きつて怒ってしまいがちです。ですが、何回言ってもできないものはそう簡単にできるようにはならないのです。もちろん、危険のあることや社会的ルールに沿わないことはきっぱりと叱る必要があります。しかし、必要以上に怒られたり失敗を繰り返したりして、自信を失くしたりひねくれたりしない方がいいに決まっています。高齢者と違うのは、子どもたちは日々成長していくということです。何とかやっていくうちに、子どもの力は伸び、手を貸さずともできるようになっていくことがだんだんと増えていくはずですよ。それまで、本人がスムーズにできる方法を探し、褒めたり励ましたりしながらやっていくことが大切なんだなあ、と義母への対応を通じて改めて感じています。



「なごみ」メンバーさんの作品です

## 「第13回 Be サポート 通常総会」ご報告



令和6年5月25日(土)18:30より、プラサヴェルデの201 会議室にて第13回通常総会を開催しました。第9回総会以降、新型コロナウイルス感染防止の観点から、書面評決のみの開催となっていたため、今回は久しぶりの会場開催です。現在、法人の正会員数 52 名、出席者 10 名、書面評決による出席 32 名、合計 42 名と過半数が出席しており、本総会は有効に成立したことをご報告します。総会では、全議案について承認を賜りましたことをご報告します。

また会場では、能登半島地震の寄付金を募るための書籍譲渡会も並行して開催しました。集まった寄付金は、法人内に設置してある募金箱と合わせて、被災地に送る予定です。

総会終了後は、ささやかですが懇親会を企画し、会員同士の交流を深める貴重な機会となったことも併せて報告いたします。

## Be サポート会員募集中

NPO 法人とは、利益を目的とせず社会や地域のニーズを追求し応える活動を行う団体です。臨床心理士を中心とした有志で Be サポートを設立しました。専門的な視点から地域のさまざまなこころの問題に取り組んでいます。現在、正会員 52 名、賛助会員 2 名、学生会員 1 名（2024.5.27 時点）で活動しております。

私たちの活動を応援して下さる会員さんを募集しております。会員の方へは会報誌の送付、研修会や講演会での参加費が優待されます。また地域で働く援助職の方には、ネットワークづくりとしても活用していただいております。会員のご登録をいただける方は Be サポート事務所までご連絡ください。

## 活動報告

### みつばち沼津 児童発達支援「あんず」



あんずでは3月後半に卒園親子遠足・進級親子遠足を行いました。予定では楽寿園に行く計画でしたが、あいにくの天候のため清水町の室内こども遊園地 Yukids (遊キッズ) という施設を利用しました。大きな滑り台や風船がたくさん入った部屋やプラズマカーなど、柔らかい素材でできた遊具で夢中になって思い切り体を動かして遊びました。

元気に遊んだ後はみつばちに場所を移し、親子で輪になってそれぞれのお弁当を食べました。美味しいお弁当を食べた後は、子どもたちが活動の中で書き入れてくれた卒園証書や進級証書をみなさんの前で発表しました。進級のおもだちは自分の好きなものについて楽しく発表できました。年長さんたちの発表では、発表する順番もしっかりと分かっています。発表の声も伝えようという気持ちがとても伝わってきました。成長した姿が素晴らしいです。



### みつばち伊豆 放課後等デイサービス「みかん」

令和6年度が始まりました。今年度は、4月1日から新1年生が仲間に加わってくれました。保護者の方も、体力的な問題や慣れてくれるか心配されていて、初日は15:30までの利用でした。けれども、本人が「もっとみかんで遊びたい」とお家でお話してくれたようで、翌日30分、更に翌々日30分利用時間を延ばしていきました。今では、お兄さん・お姉さんの真似をしながら、元気に楽しく参加してくれています。

また、今年から小学校からみかんを利用しているお子さんに限り、中学生になっても利用できることにしました。保護者様からは、とても安心したというお声をいただいています。何より、みかんを利用している子どもたちが、中学生になったお兄さんに会えるということをとっても喜んでくれています。

支援学校のお友だちから、中学生のお兄さんまで幅広いお友だちと一緒に、楽しみながら、多くのことを体験し、子ども・スタッフ一緒に成長していきたいと思います。

### みつばち沼津 放課後等デイサービス「かりん」

3月末、毎年恒例のお別れ遠足を実施しました。元々、昨年雨で中止になったパークゴルフを行う予定だったのですが…今年も生憎の雨！そのため急遽行き先を変更し、山中湖にあるく富士山レーダードーム館>>ふじさんミュージアム>へ行ってきました。少し不満を漏らす子はいたものの、比較的すぐに気持ちを切り替えられる子が多く、皆の成長を感じました。

はじめの目的地であるレーダードーム館では、富士山頂の寒さを体験できるアトラクションにチャレンジしました。凄まじい寒さでしたが、喜んで子どもたちが多く、部屋についているカメラに元気に手を振っていました！



次に向かったミュージアムでは、富士山の歴史や伝承についての展示を見て回りました。VRシアターでの富士登山も、景色がきれいで楽しかったですね！

ただ、子どもたちが一番盛り上がっていたのは、展示でもアトラクションでもなく…山中湖に残っている雪でした！雪を触ってみたり、踏んでみたり、丸めて投げてみたり…。沼津では滅多に雪が降らないために、雪を見たことがない子どもたちが多く、はじめは少しおっかなびっくりといった様子の子もいました。でも、みんなで雪のいろんな感触を体験しているうちに、だんだん楽しくなっていたようでした！はじめてのことでも、みんなと一緒に楽しく体験できますね！



今年も楽しい遠足になりましたが、来年こそは遠足の日に晴れてほしいと願っています！



## 活動報告

### 伊豆圏域の不登校ひきこもり支援 居場所「とっこ」

開所から7年目を迎えました。修善寺生いきプラザを拠点にして金曜午後に活動しています。利用者さんそれぞれのペースを一番大切にしています。送迎も軌道に乗り始めました。

編みぐるみ、折り紙クラフト、調理、カードゲームなどを通じて会話も弾みます。ゲームのルールは自由。利用者さんの提案で皆さんが盛り上がるよう変わります。そして工作室にあるピアノで、利用者さんが聞かせてくれる演奏に拍手が湧きます。穏やかな時間です。



3月は毎年恒例、美術講師の先生を招いて「マーブリング」に挑戦しました。和紙に水盤に落とした絵の具の色と作り出す模様を吸い取り楽しみました。みなさん完成度が高く提供してくれた作品の一部が、利用者さんのアイデアでオフィス設置「能登半島沖地震」募金箱になりました。編みぐるみも募金箱に乗る予定です。

活動のなかで盛り上がるのは調理です。電話利用のかたの発案でお彼岸に季節のお菓子を作りました。衛生面に気を配りながら一緒に食べて話題が広がります。月一回発行のお便りで作品を披露できました。

今後も利用者さんの目標を叶えられる居場所作りを、関係諸機関と連携しながら行います。



### ご報告「能登半島地震のための募金活動」

Be サポートの活動内容のひとつに「被災者支援活動」があります。この度の能登半島地震については、募金活動を行うこととしました。

居場所「なごみ」「とっこ」のメンバーさんに素敵な募金箱を作っていただき、主に、法人会員様や事務所に訪れるご利用者の方々に募金をお願いいたしました。定期総会では、スタッフが所蔵している心理系書籍の譲渡会で募金をお願いいたしました。

総会までに集まった **募金総額 13,776 円** 全て、社会福祉協議会を通じ、能登半島地震の被災者の支援活動に募金させていただきます。募金いただいた方々に御礼を申し上げます。



### 東部圏域の不登校ひきこもり支援 居場所「なごみ」



木曜日に開所しています。最近では利用されるメンバーが固定されてきましたが、徐々に見学や体験の申し込みも増えてきました。活動は基本自由ですが、行きたい、食べ

たい、作りたい等、利用者さん同士で、意見を出し合い、月1回おでかけや調理などのイベントを考えています。

1月は三島大社に初詣、4月は近くの公園へお花見、5月には沼津港に出かけハンバーガーを食べるなど、おでかけをたくさんした上半期となりました。有り難いことに、毎回お天気に恵まれ、気持ちのよい陽気で、海沿いを散歩したりもしました。



特に積極的に意見を出してくれるのが、調理の話題です。利用者さんの1人が家でよく作るつけ麺のレシピを教えてくれ、作って食べました。スタッフも含め、皆作ったことがないものですが、わかめなどの付け合わせもたっぷりで大満足のおいしさでした。初めての作業を、こういったイベントでされる方も多いですが、戸惑いながらも、やり方を教わって上手に料理を完成させていきます。材料を切る作業も、回を重ねるごとにどんどん上達されるため、スタッフの方が驚かされることも多いです。「なごみ」は、利用される方が安心して過ごせる場所をめざしています。ご興味がある方はぜひ見学にいらしてください。

### 寄付寄贈「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」

「幸せの黄色いレシートキャンペーン」にて、2023年度下期分29,100円をイオンギフトカードで寄贈していただきました。2024年度から、寄贈団体の活動を理解し、円滑なコミュニケーションを目指すということで、贈呈時に面談が行われることとなり、当法人の理念や活動の内容、多岐にわたる地域支援について説明させていただきました。

### ご報告「沼津市商工会議所へ入会」

今年度からBeサポートは沼津市商工会議所へ入会いたしました。会員となることで、地域との関係性を深め、NPOとしての活動や経営を支えるための情報をいただき、研修会の会場の確保もできるようになります。利用者の方々や会員さんに安心して利用していただける、スタッフも安心して働ける環境づくりを進めてまいります。